

## は じ め に

昨年の九州北部豪雨や平成27年の関東・東北豪雨、平成26年の広島市の豪雨など、雨による災害は毎年のように起きています。本年7月、梅雨前線が東日本から西日本の上空で数日間ほぼ同じ位置に停滞したことが原因で、西日本に大雨による甚大な被害がもたらされました。また地震においても、今年6月に、大阪府北部地震、今年9月に北海道胆振東部地震と、甚大な被害をもたらした大地震が続けて発生しました。尊い生命が亡くなり、大勢の方が避難生活を送ることになりました。心からお見舞い申し上げます。

「千葉県災害医療救護計画」では、将来起こりうる大規模災害から、県民の生命と健康を守るため、県内の医療救護体制を整備することを目的として作成されました。当該計画では、野田市は、政令市の千葉市、中核市の船橋市、柏市及び東葛南部・北部の8市、市原市を加えた12市と同様に、市が主体となり災害時の医療体制を整備するとされています。また、市の救護本部は、地域災害医療コーディネーターの助言及び調整に基づき、医療救護活動を実施するとされています。野田健康福祉センター（保健所）は、市の災害医療の体制整備と実施について、助言その他必要な援助を行なうとともに、市の医療救護活動を支援いたします。

野田健康福祉センター（保健所）は、公衆衛生の第一線の機関として、災害医療の他に感染症対策や食中毒対策等の健康危機管理事業などにも取り組んでいます。中東呼吸器症候群（MERS: Middle East Respiratory Syndrome）、高病原性鳥インフルエンザなどの新興感染症の出現、腸管出血性大腸菌O-157による食中毒・感染症など、県民の生命や健康にとっての脅威が次々に発生しています。その他の業務として、地域住民の健康づくり、精神障害者や難病患者への支援、福祉施策の推進等にも取り組んでいます。

また、住民の皆様が、安心・安全に暮らせるように、食品衛生・環境衛生の向上、医事・薬事に係る許認可業務等も行っています。

この事業年報は、平成29年度の野田健康福祉センター（保健所）の事業実績を取りまとめたものです。地域の資料として御活用いただくと共に、センター（保健所）業務に御理解を賜れば幸いに存じます。

今後とも皆様方からの御支援をよろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 10 月

千葉県野田健康福祉センター（野田保健所）長 杉戸一寿

## 目

## 次

I 総括	1
1 沿革	2
2 概要	3
3 管内の状況	4
4 健康相談	7
5 各種委員会	7
6 機構及び事務内容	10
7 職員数及び配置状況	11
II 総務企画課の業務概要	14
1 歳入・歳出決算	16
2 医務関係	18
3 薬務関係	21
4 献血推進事業	24
5 地域保健医療計画の推進	25
6 厚生統計調査	26
7 協議会・委員会の開催状況	30
8 保健所保健・福祉サービス 調整推進事業	31
9 地域保健従事者研修・保健所 実習	31
10 広報・啓発事業	32
11 地域防災対策	33
III 地域保健福祉課の業務概要	36
1 保健師関係指導事業	38
2 母子保健事業	40
3 成人・老人保健事業	47
4 一人ひとりに応じた健康支援 事業	47
5 総合的な自殺対策推進事業	48
6 地域・職域連携推進事業	48
7 栄養改善事業	49
8 歯科保健事業	58
9 精神保健福祉事業	59
10 肝炎治療特別促進事業	66
11 難病対策事業	66
12 市町村支援	73
13 福祉関係事業	75

IV 健康生活支援課の業務概要	84
1 結核予防事業	86
2 感染症予防事業	95
3 エイズ対策事業	102
4 難病相談事業	104
5 原爆被爆者対策事業	108
6 食品衛生事業	109
7 狂犬病予防事業及び動物愛護 管理事業	116
8 環境衛生事業	120
V 資料編	127
1 野田保健所管内 保健・介護 サービス施設	128
2 学会・研究会における発表	129
3 表彰関係一覧表	129
健康福祉センター案内	130

## 凡 例

- 各表、図は、年とあるものは1月～12月の暦年、年度とあるものは、1月～翌年3月の会計年度である。
- 各表中、年号表示のない資料は、平成29年度分（平成29年4月1日～平成30年3月31日）
- 各表欄外の注を参照のこと。
- 各表の数字は、単位未満を四捨五入してある。したがって、合計表と内訳の計が一致しない場合がある。
- 各表の符号は、特にことわりのないほかは、次のとおりである。
  - 「0」掲載単位に満たないもの
  - 「-」該当なし
  - 「…」事実不詳又は資料なし
  - 「△」減少を示す

